

# きほく人奮闘記



はなあそび  
花遊美 代表  
ろくだ ゆきこ  
六田 幸子 さん

鬼北町と西予市城川町との境目である国道197号線沿いに広がる一つの花壇。行き交う人の心を和ますこの花壇を手掛けているのが、花遊美の人たちです。

現在、上鍵山地区の人たちを中心に21人で活動している当団体。「花」を中心として、楽しみながら「遊」ぶと、自然と心が「美」しくなる、そんな思いから、六田幸子さんは「花遊美」と

命名しました。「できる人ができる時間にできることを」をテーマに掲げ、この花壇に愛情を注いでいます。

「世間話をしながら作業するのが楽しい」と、目を細める六田さん。以前と比べ、同じ地区に住んでいても顔を合わす機会が少なくなってしまった今、この活動は大切な交流の場でもあるよう。また、作業中、通りかかった人から差し入れをもらったり、労いの言葉をかけてもらったりすることが多々あるそうで、六田さんは、「何かを一生懸命やっていたら、皆が助けてくれる、そう実感した」と、笑みを浮かべながら話していました。

「花壇作りはセンスが問われる」と話す六田さん。花をどう配置すれば一番美しく見えるのかを考えるのが、難しくもあり楽しみでもあるそう。「満足のいく花壇が完成したときは、疲れも吹っ飛ぶ」と、嬉しそうに話していました。

小さい頃から花が好きな六田さん。「私自身も辛いときや悲しいときなど、幾度となく花に癒されてきた」と、話します。「花壇を見た人にとって、一瞬の間だけでも心を晴れやかにできるような花壇を作っていきたい」と意気込むその目は輝きに満ちていました。



▲花遊美が手掛ける花壇

## 鬼王丸のほのぼの日記

作 榎形 浩人  
絵 にのみや なつみ



## 人口と 7/31現在

### 世帯数

人口	10,712人
男性	5,013人
女性	5,699人
世帯数	5,112世帯

※外国人住民を含みます。

感じました。▼大自然の中で夏を満喫しようと多くの人が来場した「せせらぎ魚つちんぐ」。その中で行われた「水生生物のお勉強会」では、実際に子どもたちが石をめくり、その下に潜んでいる生き物を探し、それらについて学びました。すると、それらの生き物はきれいな川にしか生息しない生き物ばかり。生き物が鬼北の川の美しさを証明してくれました。(悠)

## 編集後記

▼7月、鬼北町では災害に関する協定書の調印式が2件行われました。地震や洪水など、私たちの生命を脅かす災害は、いっどこで起こってもおかしくありません。そんな今だからこそ、この協定は私たち町民にとって、とても心強いものだと感じました。